

【様式 1 - 1】

三 朝 町  
町道橋梁長寿命化修繕計画

平成 2 1 年 3 月

三 朝 町

## 1. 町道橋梁長寿命化修繕計画の目的

### 1) 背景

- ①本町が管理する町道で15.0m以上の橋梁は38橋あり、このうち現時点において建設後50年を経過する橋梁は1橋（1/38=3%）となっている。
- ②20年後の2030年（平成42年）には、50年を経過する橋梁が17橋（45%）になり、急速に高齢化橋梁が増大する。
- ③このような背景から、今後増加が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費の縮減を図る。

### 2) 目的

- ①道路交通の安全性を確保する上で、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化によるコスト縮減を図るため、長寿命化修繕計画を策定する。

## 2. 町道橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

	国道	県道	町道	合計
管理橋梁数	0	0	120	120
橋梁長寿命化修繕計画で対象とする橋梁数	0	0	38	38
そのうちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
H20年度における計画策定橋梁数	0	0	38	38

○長寿命化修繕計画の対象：三朝町内の橋梁のうち橋長L=15.0m以上の38橋

## 3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

### 1) 健全度の把握の基本的な方針

国土交通省の「橋梁定期点検要領(案)」及び、鳥取県の「道路橋りょう点検マニュアル」等を参考に、通常パトロールによる点検に加え、5年に1回程度の定期点検を実施し、健全度の把握を行うこととする。点検は、原則として職員による目視点検とし、これが困難な場合には業務委託を検討する。将来、三朝町独自の「橋りょう点検マニュアル」の作成も検討する。

### 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

通常点検で実施した点検調書をもとに、通常パトロール時における車内からの目視点検及び、徒歩による目視点検を実施する。  
なお、台風、豪雨、地震等による災害が発生した場合や発生の恐れがある場合には破損の有無等を点検し、通行の安全性を確認する。

## 4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本方針

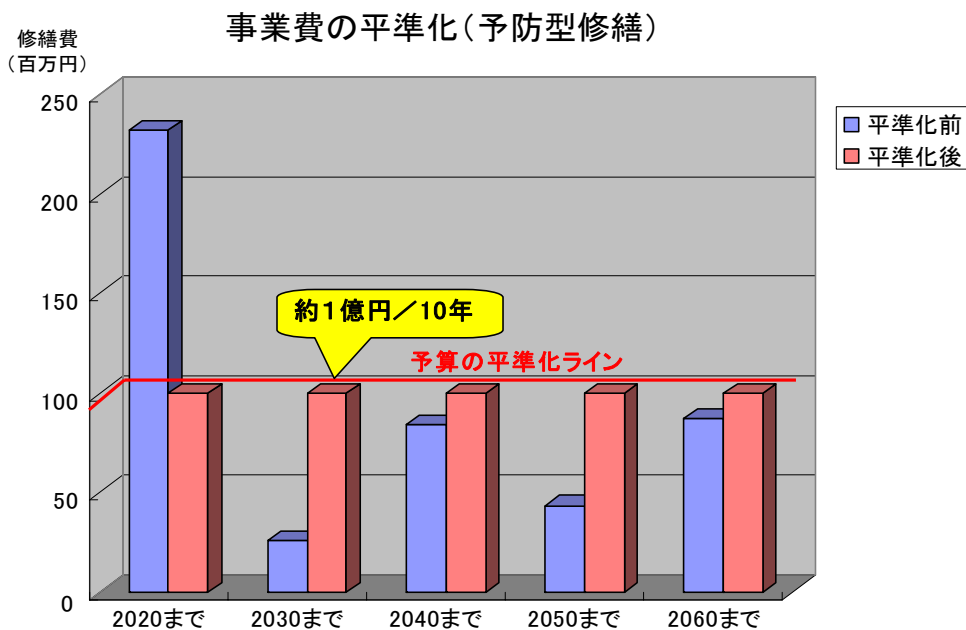
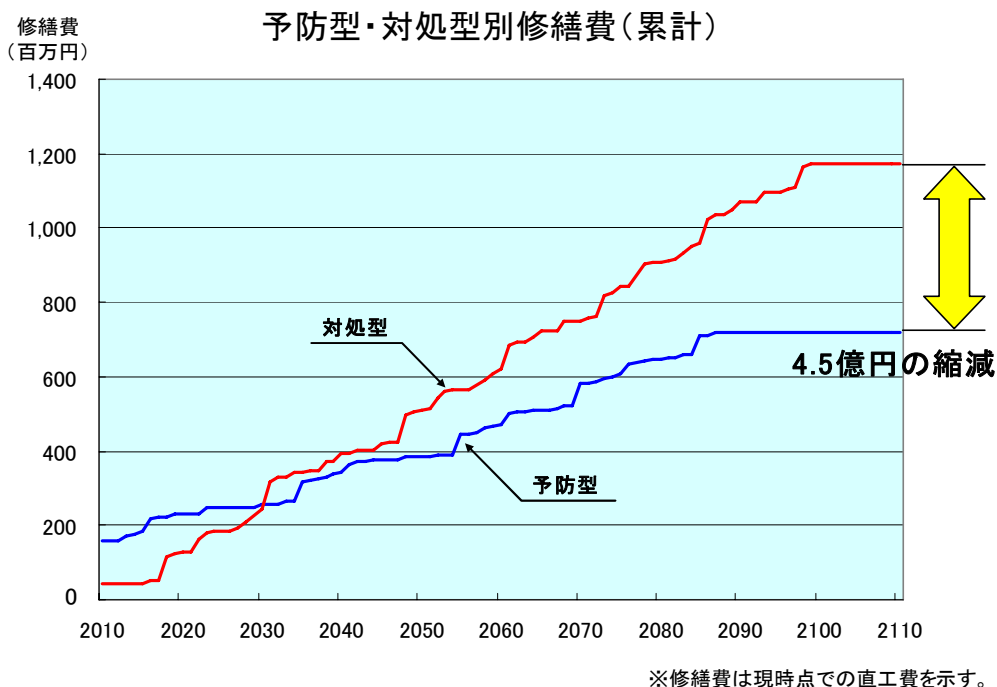
- 15m以上の橋梁において、定期点検結果による点検調書を基に優先順位を決定し、長寿命化修繕計画を策定する。  
優先順位は、破損度、橋長、交通量、防災幹線等のファクターを加味し、学職経験者等の意見を参考に決定する。  
また、年間事業費が大幅に増減しないように平準化を行い計画的に修繕を行う。  
ただし、15m未満の橋梁については定期点検、将来予測を実施していないため、今後これらに必要な修繕費を踏まえ、修繕計画を見直して行くこととする。

## 5. 対象橋梁ごとの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期（概案）

様式1-2による

## 6. 町道橋梁長寿命化修繕計画による効果

- 従来の対処型修繕から損傷が拡大する前に修繕を行うことで、長寿命化を図る予防型修繕に移行することによりライフサイクルコストの縮減が可能となる。
- 優先順位を設けることにより、必要な時期、必要な橋梁に適切に予算配分をすることができ、透明化が図れる。  
また、予算の平準化により、年間事業費の大幅な増減を防止できる。  
ただし、定期点検結果を基に劣化診断を行い、事業費の整合を図る。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

三朝町役場 建設水道課 tel 0858-43-1111

2) 意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

鳥取大学 大学院工学研究課

井上 正一 教授